

現状

ひとり1台のデバイスを効果的に活用するための 良質な学習プラットフォームの不足

いま学校教育現場でのICT化が促進されており、ひとり1台のデバイス（タブレット、スマホ、PC）を用いて学習する時代を迎えようとしています。特に小学校・中学校においては、文部科学省は2020年度に向けて「全ての学校で1人1台の情報端末を活用した学習を推進する」ことを掲げています。その環境を効果的に活用するためのソフトウェア製品は、まだまだ出始めたばかりの黎明期で、「アクティブラーニング」つまり主体的、対話的、深い学びによる個々の成長の可能性を、タブレット等を活用することでさらに促進させるシステムが期待されています。

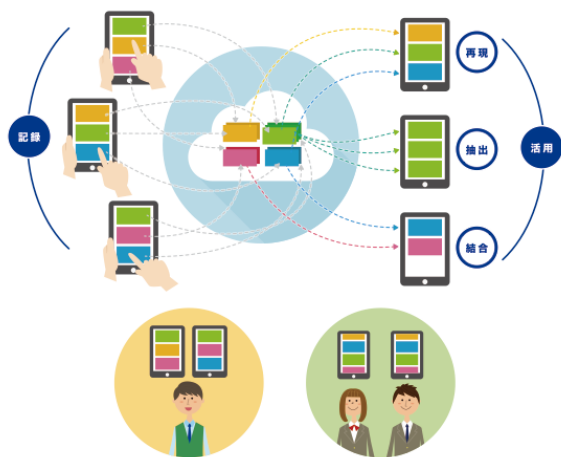
解決

学習活動におけるアクティブラーニングを支援する 「まなびシート」を提供

アンザスインターナショナルが、eポートフォリオ研究の第一人者である東京学芸大学 森本康彦教授の監修のもと開発した「まなびシート」は、学習活動におけるアクティブラーニングを支援することを目的としています。Microsoft Azureを活用したクラウド型の教育支援システムで、最新の教育工学理論に基づいた、数多くのユニークな研究成果が製品に反映されています。学習者の思考のプロセスを設計・可視化し、あらゆる学習記録データを独自の方式で保存・蓄積し、蓄積されたデータの共有・評価・分析を行うというプロセスのなかで深い学びを実現するという、新しいコンセプトのeポートフォリオシステムです。

まなびシート

(商標登録申請中)



<まなびシートについて>

先生がまなびシート上で作成した「ワークシート」を使い、学習者はシステム上の「ワークシート」に設定された項目に沿って、あらゆる学びのプロセスを書き込んだり、成果物を登録したりすることでリアルタイムに記録していきます。教室での授業、スポーツなどの実技、校外学習やアクティブラーニングなど、さまざまな場面における、成果、思考、判断、評価などの学習記録を蓄積します。

既存の製品と比較して、学習者の学習記録データ一つひとつが、時系列やワークシートの論理構造などの学習活動情報とともに項目単位で記録されることが本製品の大きな特徴です。

各項目は、学習活動における意味が設定されており、ワークシートの論理構造や、時系列などの情報と共に記録されます。これにより学習者や先生は、特定の項目だけを抽出したり、クラスメイトと共有したりと、記録された学習データを様々な切り口で抽出したり結合して表示・活用することができ、変化や成長を可視化することができます。

<まなびシートの使用例(学校)>

写真、動画、音声、文字入力、ファイルのアップロード、手書き入力など、現状考えられるあらゆる入力方式に対応します(2017.3月現在開発中の機能を含む)。

データは項目単位で抽出できるため、前回の振り返りやまとめを今回の授業の冒頭に持ってきたり、過去の記録を並べて比べながら、自らの成長を実感して振り返ることが可能です。例えば授業中に、他の学生のワークシートを見て学生同士で、アドバイスをしたり自分の気づきに役立てたりします。学生同士で意見を交換したり、自分の考えを全員に表示させることもできます。

また体育などの実技・実習系の授業で、目標設定、パフォーマンスの録画、振り返りという流れで日々記録していくことで、変化や成長をより明確に認識できます。

<どういった業種に対応できるか>

まなびシートは教育現場での授業や講義でご活用いただくことを視野に開発したものです。あらゆる業種のビジネス現場における、人材育成をはじめとする技術や知識の蓄積や向上が必要なシーンでご活用いただけます。研修時間だけでなく日々の業務で得る知識や成果も含めて一元的に記録・蓄積していくことで、長期的視野での個人の質の向上だけでなく、結果やプロセスなどのナレッジの共有、関係性の向上のほか、組織単位での情報の蓄積を支援することも可能です。

<今後の展望>

ワークシートの文脈や学習理論によって構造化された、テキスト、画像、動画、音声を含む数万人、数年単位の膨大な学習ビッグデータが蓄積されることで、AIによる学習支援や、教員支援、学校経営支援、研究活動などに活用することができます。

まなびシートは、授業等で活用される「ワークシート」の概念をインターフェースとして、あらゆる学びを記録するクラウド型eポートフォリオシステムで、学校教育機関におけるアクティブラーニングを支援することを目的としています。

eポートフォリオ研究の第一人者である、東京学芸大学、森本康彦教授の監修のもと開発し、最新の教育工学理論に基づいた、数多くのユニークな研究成果が製品に反映されています。

Point1. ワークシート作成と共有

指導者／研修提供者は「ワークシート」をシステムにて作成します。ワークシートは一度作成したら、共有・複製をして活用が可能です。

Point2. 学習記録データの蓄積

学習者は、ワークシートに沿って様々な場面でのあらゆる学習プロセスを書き込んだり成果物を登録することで、システム上にデータを記録、蓄積していきます。

Point3. 学習記録データの活用

学習記録は1つひとつの項目単位で、ワークシートの論理構造や時系列などの学習活動情報と共に記録されます。自由自在に学習記録データを活用し、学習者の成長を可視化することができます。

会社概要 >

アンザスインターナショナルはITの技術力と教育への熱い想いを持ったスペシャリスト集団です。教育における問題をテクノロジーによって解決することをミッションとしています。2005年5月に大阪にて創業。ICTソリューション・教育サービス事業・海外事業・人材育成事業の4事業を営んでおり、これまでに日本だけでなく米国・中国・オーストラリアにてITシステムの開発や教育関連サービスなど様々なソリューションを提供しています。技術開発力を強みとするITシステム会社は多くある中、ITシステムの高度な技術力・企画設計力を持ちながらも、実際に教育業界におけるプレイヤーとして、学校の設立・経営・M&A、コンテンツ開発、教育プログラムの実施等を自ら手がけてきたことは、ITシステム業界、教育業界どちらから見ても極めてユニークであり、弊社の最大の強みとなっております。国内外の教育機関を顧客として、数多くのITシステム開発や委託研究プロジェクト等の実施実績があります。閉鎖的な市場といわれる学校教育業界において、顧客の口コミや紹介のみで現在では有名大学を初め多くの学校様と取引させて頂いているのは、その仕事に対して高い評価を得ている証であると自負しています。

主要産業 >

産業

全産業

ソリューション分野

主には学校教育機関がターゲットですが、あらゆる企業での技術や実務上の知識などの蓄積とそれらのデータを活用した人材教育・研修にてご活用いただけます。

使用技術 >

技術

Microsoft Azure

ご質問・ご相談はこちら > アンザスインターナショナル株式会社



電話で [月～金 10:00～18:30]

03-6451-1377



MAILで [24時間受付]

contact-jp@anzas.net



WEBで [24時間受付]

http://anzas.net/

